

## 土砂災害に備えましょう

土砂災害は、いつ起きるかわかりません。土砂災害から自分の身を守るためには、日ごろの備えが大切です。例えば、土砂災害の前兆現象を知っておくことや、ふだんから家の周りの状況を確認しておくことが大切です。

いざという時に備えて、日ごろから家族と話し合ってみてください。

### ●土砂災害の前兆現象を知っておきましょう

土砂災害が起きる前には、前兆現象と呼ばれる前ぶれが見られることがあります。前兆現象に気付いたときは、周りの人に知らせて、早く避難しましょう。

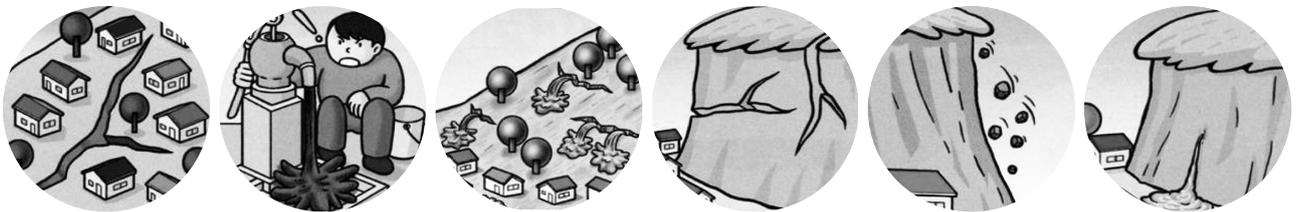
### ●避難場所や連絡先を確認しておきましょう

土砂災害はいつ起きるかわかりません。外出先から直接避難する場合もあります。日ごろから、家族で連絡を取り合う方法を話し合い、避難場所を確認しておきましょう。  
※土砂災害危険箇所・避難場所については、市ホームページにも掲載しています。

http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/6552622\_136.html

問い合わせ  
総務課総務防災係  
TEL (23) 1111

## 土砂災害の前兆現象例



ひび割れができる 井戸の水がにごる 水がふき出す 割れ目が見える 小石が落ちてくる 水がわき出る

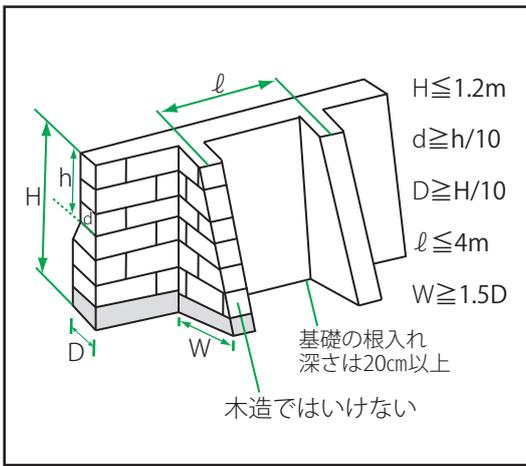
## 大谷石塀などの安全対策を お願いします

東日本大震災により、県内において多くの大谷石塀や石造塀など（以下「大谷石塀など」）が倒壊する被害がありました。

大谷石塀などを設置するための最低基準として、塀の高さ1・2メートル以下（大谷石ブロック3段積み程度、基礎・笠木を含む）にするなどが建築基準法に定められていますので、改修および新設する場合は、基準を守って施工してください。

また、被害のなかった大谷石塀などについても、基準に従い設置されていない場合や劣化具合によっては倒壊の恐れがありますので、建築士などの専門家に相談されることをお勧めします。

### ●大谷石塀などの基準図



※建築基準法施行令第61条による規定内容を図化したもの。  
※国土交通大臣が定めた構造方法により補強され、かつ、国土交通大臣が定める構造計算により構造耐力上安全であることが確かめられた場合については、この限りではありません。

### 問い合わせ

栃木県建築課建築指導班  
TEL 028(623)2514  
市建築住宅課建築指導係  
TEL (23) 8724

## 節水にご協力ください

東日本大震災に伴う夏の電力不足に向けた節電のため、「節水」にご協力をお願いします。

- 蛇口は、全開ではなく半開きにし、こまめに開け閉めしましょう。
  - 風呂の沸かしすぎや張りすぎに注意しましょう。
  - 洗濯は、お風呂の残り湯を利用し、まとめ洗いしましょう。
  - 食器は、洗い桶にためて洗いましゅう。
  - 洗車は、ホースで流し洗いはなく、バケツにためて洗いましゅう。
- ※節水に取り組むことで、ご家庭の水道料金の節約にもなります。節水のご協力をお願いします。

### 問い合わせ

水道課管理係  
TEL (23) 8713